

絵本の読み聞かせ

旭川市中央図書館の スタッフが来てくれました!

小学部が取り組んでいる自立活動の時間（「コツコツタイム」）に絵本の読み聞かせをしていただきました。今日は、旭川市中央図書館のスタッフが来て、3つのお話を読み聞かせてくれました。（お話は、大型絵本とエプロンシアターで「なにをたべてきたの?」「おめんです」「おおきなかぶ」を読んでいただきました。）小学部の児童は興味津々で聞いていましたよ。

絵本の読み聞かせは、純粋に本やお話に親しむということに加え、高学年になれば幼稚部や低学年に読んであげる読み聞かせにチャレンジしたいという気持ちも育まれるのではないのでしょうか。今日は、純粋に楽しんでいました。今後、絵本の読み聞かせは、中央図書館のスタッフの方に加え、旭川聾学校サポーターズの方にもお願いする予定になっています。

また今年度は、図書環境の整備についても、できることから取り組むことにしています。

その一環として、図書室の本の展示の仕方をこれまで以上に工夫し、表紙が見える展示にしたことと、図書室に「校長の図書紹介コーナー」を作りました。また、校長室前には、中央図書館に御協力いただき、2ヶ月に一回60冊程度の本を貸していただいて展示し、子どもたちが手に触れられるようにしています。更に、中央図書館では、子どもたちがもっている一人一台端末（タブレット）で旭川市電子図書館の利用が子どもたち自身でできるように御配慮いただいています。子どもたちが、自分のタイミングで様々な本に親しみ、豊かな表現や知識の世界に触れられることを期待しています。皆さんありがとうございます。

